土木工事積算基準の 改定・追加・訂正

適用年月日(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区 分 ページ	改定	現 行		
共通編 仮設-27 105 仮設工 105-290 とい排水工 運用資料	1. 連用範囲 1. 本資料は、仮設として設置するとい排水工に適用する。 2.) 内側の種(切) 800ms 、高さ(月) 750ms (水深(h) 800ms) 以内は樹脂製角形 (リ字溝、上記より大きいものは調製コルゲートフリューム (A ~ C形) としている。 調製コルゲートフリュームの形より大きいものは、別途を慮する。 (参考団) (参考団) (参考団) 地中設置 地中設置 (参考団) ・ 本部は、120mm (A で C で で で C で C で C で C で C で C で C で	1. 通用範囲 1. 本資料は、仮設として設置するとい様水工に適用する。 2. 内側の痛(W)800ma、高さ(H)750ma(水深(h)800ma)以内は樹脂製角形U字溝、上記はり大きいものは親製コルゲートフリューム(A へて形)としている。 類製コルゲートフリュームの形はり大きいものは、別途常慮する。 《類型コルゲートフリュームの形はり大きいものは、別途常慮する。 《類型コルゲートフリューム 解析 ファクル (場を) (多考図)	注追加	

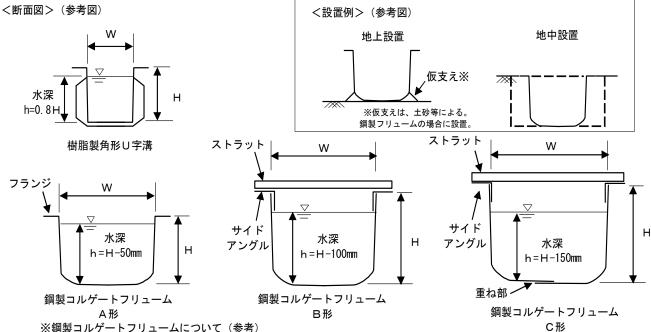
105-290 とい排水工

1. 適用範囲

- 1) 本資料は、仮設として設置するとい排水工に適用する。
- 2) 内側の幅(W)600mm・高さ(H)750mm (水深(h)600mm) 以内は樹脂製角形U字溝、

上記より大きいものは鋼製コルゲートフリューム(A~C形)としている。

鋼製コルゲートフリュームC形より大きいものは、別途考慮する。



- ※鋼製コルゲートフリュームについて(参考)
- ・延長方向の連結部と、重ね部に、パッキング(継ぎ目の水漏れ防止)を取り付ける。
- ・A形は、フリューム本体にフランジが付いている。B形・C形はサイドアングルを取り付ける。
- ・B形・C形は、延長概ね1m毎にストラット(横断方向の梁)を1本取り付ける。
- ・ロックワッシャーは、B形・C形の底部ボルト緩み防止のため取り付ける。

※流量計算にあたって(参考)

上記参考図に示した水深(h)は、水の飛散を考慮した水深である。流量計算における平均水深は、水深(h)の80%を基本 とするが、現場条件(流入の状況により、平均水深の変動が大きいと想定される場合等)により、これによりがたい場合は別 途考慮すること。

2. 施工歩掛

105-290-01 とい排水(樹脂製角形U字溝)設置撤去

施工単価コード	DX073400

表1.1 とい排水(樹脂製角形U字溝)設置歩掛

(100m当り)

			樹脂製角形U字溝					
名	称	単位	W 1 8 0	W 2 4 0	W 3 0 0	W 4 0 0	W 5 0 0	W 6 0 0
			H 2 2 5	H 3 0 0	Н375	H 5 0 0	H 6 2 5	H 7 5 0
土木一般世話役		人	0.23	0.28	0.32	0.41	0.49	0.57
普通作業員		人	0.68	0.83	0.97	1.2	1.5	1.7
樹脂製角形U字溝		m	1 0 1					

- (注) 1. 上記歩掛は、運搬距離100m程度までの小運搬を含む据付作業であり、地中設置のための床掘・埋戻し、 発生材運搬(ヤード等に保管する場合)および運搬処分費は含まない。
 - 2. 空中架設は別途考慮すること。